



つばさだより No.228

2013年11月



つばさ薬局 多賀城店 ☎022(366)8001 吉川店 ☎0229(22)7010
長町店 ☎022(308)5711 泉店 ☎022(772)1571
船岡店 ☎0224(58)1065 若林店 ☎022(289)8777
中新田店 ☎0229(64)1888 松陽台店 ☎022(361)9444
松島店 ☎022(353)2990 ことた店 ☎0229(31)2550
玉川店 ☎022(365)2838

医薬分業の仕組み

わたしたち薬局が

めざしていること



つばさ薬局は、1994年に、
第一号店の多賀城店が開局し、
来年、20年目を迎えます。つば
さだよりは、毎月発行し、数えて
228号となりました。県内の11
店舗で、日頃から地域の皆様に、
ご利用いただき、心から感謝い
たします。

最近、テレビで「『医薬分業』は、ほんとうに、患者、国民に役立っているの?」という報道が多くされています。ごらんになった方もいるかもしれません。

そこでは、「薬局は、処方箋の通りにくすりを袋につめて、印刷された説明書を渡しているだけ」、「薬剤師は、専門的なチェックをしているのか?」、「病院の中でもらうほうが、便利で安上がり」といった意見もあります。

こうした報道から、わたしたち薬局の存在意義が、改めて問われている面があると考えています。

今回のつばさだよりでは、地域の皆様が、薬局のことを知り、薬局を身近に感じて、もっと有効に活用していただくことを願い、今一度、医薬分業の意味、薬局の役割、つばさ薬局で取り組みを、紹介をさせていただきます。

医 薬 分 業

って? どんなメリット

「医薬分業」というのは、病院や診療所の医師が処方箋を発行し、患者さんは、まちの薬局で薬剤師から、お薬を受け取る仕組みです。これは、医師と薬剤師の二つの専門職種により、医薬品の使用をチェックし、お薬の効果や安全性を一層、高めることを目的にしています。



薬剤師は調剤にあたって、患者様の年齢や既往の病気、お薬手帳から、薬の内容、量、飲み合わせなどをチェックします。患者様の体調をうかがい、薬の効き目はどうか、副作用がないかを確認します。処方内容に疑問な点があった場合は、必ず医師への確認の上、調剤します。その上で、患者様が安心して服薬していただけるよう、わかりやすく丁寧な説明に努めています。また、必要に応じて医師に、情報提供や相談をします。

こうしたことを通して、患者様が、安全で有効な薬物治療が続けられるようサポートさせていただくことが、わたしたちの第一の役目だと認識しています。

くすりでお困りのこと何でも 薬剤師に相談してみませんか



「数が多くて飲み方が混乱する」、「のみにくい剤形がある」、「生活サイクルに飲む回数が合わせられない」など、困ったことはありませんか。また、「こんなことを相談してもしょうがない」と思っていますか。わたしたちは、くすりの安全性と効き目を基本にしながら、のみやすさのための工夫を提案しています。必要な場合は、処方内容の見直しを医師と相談します。

わたしたちは、患者様が快適に服薬を続けていくことに貢献したい、そのために、薬剤師を大いに活用していただきたいと思います。

おくすり代の支払いは大変に高額になっています。普段、飲んでいるおくすりが余ってきた場合や、体調の変化に対応して必要なものだけ処方してもらう、効き目が同じで安価なくすり（ジェネリック薬）にしていくといったことに、こまめに対応します。ぜひご相談下さい。

二度手間などのご不便には、できるだけサービス向上に、 努めていきます。

医薬分業により、病院と薬局の双方に行かなければならない不便さや、病院内で薬をもらうのにくらべて負担金が高くなる場合があります（病院と薬局薬剤師で診療報酬の技術料が異なるため。病院薬剤師の外来技術料が低く人員をまかなうものになってないという問題があります）。また、日頃、皆様には、待ち時間でご迷惑をおかけしています。

つばさ薬局をご利用していただくメリットを肌で実感できるよう、「サービスの倍返し」をめざし、職員一同、いっそうの業務改善、環境改善に努めていきます。つばさ薬局は、今後も、皆様とともに、「安全と安心の調剤と服薬支援、一般薬・介護用品の提供」、「くすりと健康に関わる情報発信と地域の健康づくり」、「患者様の療養環境と医療・介護・社会保障制度と平和な社会を守ること、薬害のない社会をめざす活動」に取り組んでいきます。

おくすりのシートのままのんでしまうという 誤嚥事故にご注意下さい。

薬を包装シートごと飲みこんでしまい、喉や食道を傷つけるとい事故が、全国の医療安全調査で多く報告されています。

シートの角は鋭利なので、包装のまま飲み込んでしまうと、喉や食道や胃粘膜、小腸などを傷つけることがあります。自力で取り出すことは難しく、内視鏡で取り出さなくてはならないことが多く、身体への負担も大きくなります。

患者様の中に、飲み方がわかるように、ハサミで切り離して保管されている方や、家族が一回分を切って渡すということもあるかもしれません。しかし、こうしたことが誤飲の原因になることが多いようです。特に高齢の方は注意が必要です。若い方にも「うっかり、あわてて飲んでしまった」という例があります。

保管は、できるだけ、シートを切り離さずにおく。1回分を取り出して服用することをおすすめします。また、薬局で一包調剤にすることもできます。ご希望の方は、薬剤師にご相談下さい。



12月の栄養相談予定

(各店10:00～12:00開催です)

- ・ 2日(月) 松島店
- ・ 4日(水) 若林店
- ・ 6日(金) 松陽台店
- ・ 10日(火) 多賀城店
- ・ 12日(木) 中新田店
- ・ 16日(月) 長町店
- ・ 18日(水) こごた店
- ・ 20日(金) 泉店